

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行

千葉県君津農業事務所
君津地域農業改良普及事業協議会

編集

千葉県君津農業事務所
改良普及課



雨の中、支柱打ち機の実演をみる参加者



先進レタス産地視察研修会（安房地域）



若手レタス生産者現地検討会

レタス産地の

生産力アップに向けた取組

（歴史ある産地の発展を目指して）

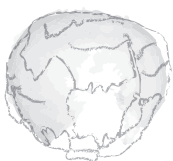
君津地域のレタスは、約60年前から小櫃川沿岸の水田で裏作野菜として栽培されており、君津地域の基幹品目となっています。また、近年は富津市の天羽地区でも栽培されるようになり、4市で栽培出荷されています。

現在の出荷形態は、市場流通するラップ包装したレタスだけでなく、ラップをしない業務加工用のコンテナ出荷や、さらに、ちばエコ基準で栽培されたエコレタスも生産されています。

一方で、近年は生産者の高齢化により栽培者数は減少傾向にあり、以前は100haあった産地面積は一時50haまで縮小しました。しかし、若手生産者（概ね40代以下）の規模拡大により約60haまで回復しています。

歴史ある産地の生産力アップのため、JA木更津市、JAきみつ、全農ちば等の関係機関及び農業事務所は連携して、安定生産のための品種選定や、省力化のため機械実演会の実施、若手生産者を対象にした視察や勉強会などの取組を行っています。

今後もこれらの取組を継続し、レタス産地が発展するよう支援していきます。



（片山）

ASIAGAP認証取得 〜更なる経営発展に向けて〜

【GAP取組の経緯】

農事組合法人木更津水耕組合はミニトマトの養液栽培を行っており、平成2年7月に設立されました。

平成23年と24年にヒートポンプの導入、平成27年に二酸化炭素発生機、平成28年に二酸化炭素発生機の追加、コンピュータ制御器の更新、スマートフォンによる管理システムの導入など、高品質・多収生産による販売額の増加に向けた環境制御の機材を積極的に整備しました。

GAPについては、安全・安心なミニトマト生産と販路拡大を目的として、平成29年度の「ちばの農林水産物品質向上推進事業」を活用して認証に向けた取組を開始しました。栽培環境整備や労務管理等の改善に取り組んだ結果、翌年の平成30年度にASIAGAP認証を取得しました。

【ASIAGAP認証概要】

代表の中山氏は認証取得以前から「GAPをする」に取り組まれていましたが、コンサルタントの指導を受け、

栽培環境整備に関しては、

- ・ハウス建屋、圃場の施設管理
- ・農薬、大腸菌などの検査実施
- ・ハウス内蛍光灯や温度計の飛散防止対策の実施

労務管理に関しては、

- ・トイレ清掃の管理表での管理
 - ・残渣、防護服などの管理基準決定
 - ・従業員の体調管理表作成
 - ・冷蔵庫内の用途別での整理整頓
- など更なる改善に取り組まれました。



蛍光灯の飛散防止対策

改善箇所は10か所以上にもなり、燃油タンクなど高額な設備も改善対象になりました。「認証取得も含めた費用は高額だったが、将来への先行投資と

考えて決断した。」と、中山氏は当時を振り返ります。



整理整頓された作業場でのミニトマトの選果

【今後の取組】

農場管理体制の向上を目的とした「GAPをする」の取組は認証取得後も継続されています。それらの取組は、木更津水耕組合で雇用されている10数名の雇用の確保、作業事故の予防、高品質での安定出荷など経営の基盤となっています。その基盤に加えて、果実の糖度調査、養液分析、新品種の生育調査など品質向上、収量増加に向けた取組も積極的に行っています。



販売会議での現品査定

さらに、出荷物に対する信頼獲得に向けて、出荷用段ボールへのマーク印刷などにも取り組まれています。これらの活動を販売会議などでJAや市場担当者に積極的に情報発信し、ASIAGAP認証を経営改善に向け更に活用できるように取り組んでいます。

現在日本では、欧州のようにGAP認証は必須ではなく、またマーケティングツールとしても広く認知されているとは言えません。木更津水耕組合のような先進的な優良経営体がGAPの成果を実感し、今後の更なる経営発展に活用できるよう支援していく必要があります。

(鈴木)

★表彰者の紹介★

今年度は地域での取組が評価され、3名の方が表彰されました。

☆平成30年度 全国優良経営体表彰

△全国担い手育成

総合支援協議会長賞▽

鈴木 芳昭氏 (君津市)

鈴木氏は、コラブ・ニンジンを中心に栽培しており、体験農園・オーナー制度による取組を通じて、今後の地域を担う担い手の育成にも非常に力を入れていきます。育てた担い手がしっかりと定着できるように経営の柱となる品目を中心に指導し、独立後も積極的に携わるようにしています。独立した担



全国農業担い手サミットでの授賞式(写真中央が鈴木氏)

い手の中には、取り組んでいる加工品がふるさと納税の返礼品に選ばれるほど、地域を代表する生産者の一人になつている農業者もいます。また、これらの農業者と協力しながら、観光型農業にも取り組んでおり、担い手育成と地域活性化の両方につながる取組も精力的に行っています。今後も担い手育成をしながら、地域を活性化していく活動が展開されていくことが期待されます。(宇津木)

☆千葉県農業改良普及事業

70周年記念大会表彰

小堀 和平氏 (君津市)

小堀氏は、君津市清和地区で自然薯栽培を行っています。現在は千葉県自然薯生産連絡協議会長及び清和自然薯組合長として、清和地区のみならず県内の自然薯生産の維持・普及に貢献しています。

清和自然薯組合は現在組合員17名で、小堀組合長のもと、切磋琢磨しながら自然薯の生産に取り組んでいます。「清和のじねんじょ」は、「清和に出来ない」と買えないことが特徴のひとつです。自然休養村管理センター敷地内里のめぐみ館を始め、県内外から多くのお客様さんが買い求めに来るなど、地域の活

性化に貢献しています。

自然薯特有の香り、粘り、味を出すために、現状に満足することなく、日々努力を続ける小堀氏。今後も清和及び県内の自然薯生産のリーダーとして活躍することが期待されます。(加藤)



品評会で特別賞を受賞(小堀氏)

☆千葉県農業改良普及事業

70周年記念大会表彰

農事組合法人 みずき会

(袖ヶ浦市)

農事組合法人みずき会は、「袖ヶ浦市の牛乳や農産物をアイスクリームで味わってもらおう」を理念とし、現在会員11名で活動しています。昭和54年設立の「袖ヶ浦町酪農婦人部みずき会」を前身とし、設立当初から女性目線を活かした酪農家の暮らしの見直しや、牛舎環境の改善に取り組む、女性の経営参画をいち早く実践してきました。

現在では、牛乳を使った加工品の開発にも意欲的に取り組み、素材のおいし

さが楽しめるソフトクリームや、季節の地元農産物とコラボレーションしたアイスクリームの他、袖ヶ浦市産の米粉を使用したクレープも販売しています。

今では常設店舗を持ち、雇用も活用しながら法人として活動を展開しているみずき会は起業を志す若手農家の手本となっています。

また、地元を中心とした各種イベントにも積極的に参加しており、地域産業である酪農をPRする重要な発信拠点として地域の活性化に貢献しています。(羽深)



ゆりの里、ドイツ村にも店舗があります! みなさんのお越しをお待ちしています!

新しい農業士・指導 農業士認証者紹介

平成30年11月13日に、千葉市内にて平成30年度千葉県農業士・指導農業士認証式典が行われ、管内からは農業士2名、指導農業士1名の方々が認証されました。

農業士は、地域農業の担い手のリーダーとして、農業青年の相談相手となり、共に地域を盛り上げる役割が期待されます。

指導農業士は、農業青年の模範として、地域の農業後継者を育てることが求められています。

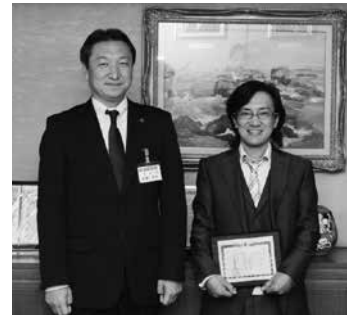
今年度、新規に認証された方々を紹介します。

【農業士】
☆ 森田 泰彰氏(富津市)

施設野菜(メロン、ミニトマト)、果樹(ブルーベリー)の生産を行っています。メロンは品質の高さから富津市のふるさと納税の返礼品にもなっています。

また、株式会社百姓王の代表取締役として、耕作放棄地

の解消等にも取り組み、地域の活性化に励んでいます。



高橋富津市長と森田氏(写真右)

☆ 露崎 修央氏(袖ヶ浦市)

水稲と施設での野菜(さやいんげん)と花き(ストック)、農産物加工として味噌及び麴の生産を行っています。味噌や麴については、地域を代表する製品となっています。

また、袖ヶ浦4Hクラブ及び袖ヶ浦市露地野菜研究会の会長を務めており、地域の牽引役として活躍しています。

【指導農業士】
☆ 伊藤 正己氏(袖ヶ浦市)

水稲と露地野菜(レタス)、施設野菜(さやいんげん、ピーマン)の栽培をしています。レタスのちばエコ栽培によるブランド化を先頭に立って取り組んだり、地域の若手農家の視察研修を受け入れたり、

産地の評価向上、地域活性化に積極的に取り組んでいます。



出口袖ヶ浦市長と露崎氏(写真右)と伊藤氏(写真左)



式典後の記念撮影



(宮木、宇津木)

農業経営体育成 セミナー生を募集!

就農した40歳程度までの方々を対象に当セミナーを実施しており、現在、参加者を募集しています。

当セミナーは、3か年コースで、農業技術や農業経営に係る研修を行っています。また、先進的な経営を行っている農業経営体を視察することで、実践的な生産技術や経営手法、あるいは販売に係る様々な事例を学ぶことができます。



先進経営体視察の様子

さらに、若手農業者が集まることで仲間づくりにもつながります。同業者の仲間がいることは、これからの営農活動にとつて、必ず大きな支えになります。

募集は5月上旬まで行っていますので、興味を持たれた方は改良普及課まで御連絡ください。(三枝)

新 起業家チャレンジ セミナー受講生募集!

農産物の加工・販売による経営の多角化を目指している君津管内4市の農家を対象に、「新」起業家チャレンジセミナーを開講します。

農産物の加工・販売に取り組む際に役立つ知識や必要な情報を提供します。

また、既に加工品の販売を行っている農家から活動事例などを聞くこともできます。

受講生を6月末まで募集しています。御興味のある方は改良普及課まで御連絡ください。(加藤)